



モンゴル帝国史研究の現在と課題

日時:2024年6月22日(土) 13:00-17:50 (12:30開場)

会場:早稲田大学戸山キャンパス 36号館382教室 (入場無料)

オンライン参加をご希望の方は、事前登録をお願いします。Googleフォーム:<https://forms.gle/WGozm4KZAnFnSxsA7>

QRコード:



主催:内陸アジア史学会

共催:早稲田大学中央ユーラシア歴史文化研究所
東京大学中東地域研究センター
北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター「国際的な生存戦略研究プラットフォームの構築」プロジェクト
東洋文庫中央ユーラシア研究グループ

プログラム

会長挨拶 柳澤明・早稲田大学文学学術院教授

主旨説明 小松久男・東京大学名誉教授・東洋文庫研究員 13:00-13:10

第1部 司会:船田善之・広島大学大学院人間社会科学研究科准教授

第1セッション チングス・カンの実像 13:10-14:00

宇野伸浩・広島修道大学国際コミュニティ学部教授

「チングス・カン研究と初期グローバル化としてのモンゴル帝国」

白石典之・新潟大学人文学部教授

「考古学からみたチングス・カン」

第2セッション ジョチ・ウルスとチャガタイ・ウルス 14:00-14:50

長峰博之・小山工業高等専門学校一般科准教授

「ジョチ・ウルス史の研究動向から—史料研究・考古学・貨幣学」

松井太・大阪大学大学院人文学研究科教授

「『周縁』からみたチャガタイ=ウルス—トウルファン発現モンゴル語・ウイグル語資料を中心に」

休憩 14:50-15:00

第2部 司会:松田孝一・大阪国際大学名誉教授

第3セッション フレグ・ウルスから見えるもの 15:00-15:50

大塚修・東京大学大学院総合文化研究科准教授

「モンゴル帝国時代ペルシア語歴史叙述研究の最前線」

諫早庸一・北海道大学・スラブ・ユーラシア研究センター特任准教授

「フレグ・ウルスの崩壊—「14世紀の危機」の解明に向けて」

第4セッション 元朝から広がる海陸交通路 15:50-16:40

村岡倫・龍谷大学文学部教授

「最古の世界地図『混一疆理歴代国都之図』から見る内陸アジア」

向正樹・同志社大学グローバル地域文化学部准教授

「混一疆理歴代国都之図から見る海域アジア」

休憩 16:40-16:50

第3部 総合討論 16:50-17:50

出典:『混一疆理歴代国都之図』(龍谷大学図書館所蔵)